

2205 栗原光博	白ネギ	春蒔、他
-----------	-----	------

施肥 有機質・土壌改良剤・化学肥料など（購入の場合はメーカー名記入）

<土づくりの使用資材・肥料について>

商品名	原料	メーカー(購入先)	全成分					有機率(%)	使用目的	計画				実績					
			全N%	全P%	全K%	化成N%	化成P%			化成K%	使用量	使用時期	回数	化成窒素kg	使用量	使用時期	回数	化成窒素kg	
産直有機入り683			6	0	8	3		100	元肥	100				70	7/25	1			
有機化成10-10-10			10	8.1	10	10			追肥	60									
カキライム				0				100	元肥	200									
グリーンコンボ								100	元肥	600				600	8/1	1			
消石灰								100	追肥	60									
苦土石灰								100	元肥	160				110	8/20	1			

【慣行農法との比較】

*化学肥料

窒素分で比較して 当地比 **8** 削減

化学肥料	窒素使用量 (kg/10a)
慣行使用量	22
実績使用量	3.2

*節減対象農薬

当地比 **5** 削減

節減対象農薬	使用回数	地域の慣行防除
土壌消毒剤		
除草剤		
殺虫剤		24
殺菌剤		
その他薬剤		
合計	12	24

病虫害の防除 使用した天然防除資材・自作資材・農薬（成長調整剤、展着剤等を含む）

分類	商品名	原料/成分名	メーカー(購入先)	使用目的	計画					実績					使用量/10a	
					希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	商品	成分
殺菌	オリゼメート粒剤	プロベナゾール		軟腐病	-	6kg	30日前迄	2	1						2	2
殺菌	ロブラール水和剤	イプロジオン		黒斑病、白絹病、小菌核腐敗病、ボトリチス枯	1500	300	14日前迄	3	1						3	4
殺菌	アリエッテイ水和剤	ホセチル		疫病、べと病	800	300	3日前迄	3	1						3	3
殺菌	トリフミン水和剤	トリフミンゾール		萎凋病	200	1	定植前	1	1						1	1
殺菌	モンカット粒剤	フルトラニル		白絹病	-	4kg	30日前迄	3	1						3	4
殺菌	スターナ水和剤	オキシニコック酸		軟腐病	2000	300	7日前迄	3	1						3	3
殺虫	ベストガード水溶剤	ニテンピラム		ネギアザミウマ、ネギハモグリバエ	1000	300	前日迄	3	1						3	3
殺虫	コテツフロアブル	クロフェナビル		ヒョウタンノウムシ類、シロイチモジトウ	2000	300	7日前迄	2	1						2	2
殺菌	日産モンカットフロアブル40	フルトラニル		白絹病	2000	300	30日前迄	3	1						3	4
殺虫	アフファーム乳剤	エマメクチン安息香酸塩		ネギハモグリバエ、シロイチモジトウ	2000	300	7日前迄	3	1						3	3
殺虫	スピノエース顆粒水和剤	スピノサド		アザミウマ類、シロイチモジトウ	5000	300	3日前迄	3	0						3	3
殺菌	アミスター20フロアブル	アゾキシストロビン		黄斑病、黒斑病、さび病、葉枯病、べと病	2000	300	3日前迄	4	1	2000	120	10/28 2/27	2	2	4	4
殺菌	ランマンフロアブル	シアノファミド		べと病	2000	300	3日前迄	4	1						4	4
殺菌	ハチハチ乳剤	トルフェンピラド		さび病、べと病、アブラムシ類、アザミウマ類	1000	300	3日前迄	2	1						2	2
殺虫	アルパリン粒剤	ジノテフラン		アザミウマ類、ハモグリバエ類	-	6kg	3日前迄	2	1	-	5	9/9	1	1	1	4

月	計画(作業、施肥、防除など)	実績(作業)
1月	防除	
2月	防除	
3月	収穫	
4月		
5月	秋冬作播種	
6月		
7月	定植 春作播種	7月12日 播種
8月	防除	
9月	防除 定植	9月9日 定植
10月	防除	
11月	収穫 防除	
12月	防除	

耕起開始:	平成29年5月
終了:	平成29年7月
播種開始:	平成29年5月
終了:	平成29年7月
定植開始:	平成29年7月
終了:	平成29年9月
収穫開始:	平成29年11月上旬
終了:	平成30年7月上旬